

第 4 回茅野市新地域公共交通検討会議

開 催 日 時	令和 2 年 10 月 29 日（木） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 10 分まで		
開 催 場 所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍 聴 者 の 数	11 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>第 4 回 茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会 これより第 4 回の会議を開催します。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ 地域戦略課長：会長 篠原 敏様よりごあいさついただきます。 みなさんこんばんは。冷え込んでまいりましたが、お忙しいみなさんに、この様に大勢お集まりいただきありがとうございます。さて、お時間をいただいて、資料を用意いたしました。それは、やはり利用していただく若い人のご意見も伺わないといけないということで、先日、CHUKO らんどチノチノの意見交換会の中で学生さんたちとお話をさせていただきました。高木先生また田中課長の進行が上手かったのか分かりませんが、そのみなさんの貴重なご意見をうかがってこの資料の中にも落としとしてあります。もともとCHUKO らんどチノチノは、みなさんご存じのとおり、なぜあそこにできたかという事でありすけれども、東口の通路に若い子たちが大勢たむろしてそこで音楽をかけてダンスを踊っている。これが、風紀上よろしくないということと、また観光都市茅野市の計画地としてふさわしくないという話が起きました。その時に、そうした人たちに身の置き場所を見つけ、そして尚且つ彼らにその管理を任せたとのことである。大変な英断であったと思います。大人は、（矢崎としおみ）さんもその一人でありますけれど、このサポート委員会でサポートをするだけ、その運営は彼らの実践に任せたと、自治を保障したということが、CHUKO らんどチノチノの素晴らしいところである。そして、彼らも本当にきちんとした意見をお持ちでいろんなところで「こうしたい、ああしたい」という意見があった。また、明後日に北部中学校出身者の方々にお集まりをいただいて、その皆さんが、なぜ北部中かと言いますと、（しょうふくてん）のルーツだからである。その皆さんのご意見をうかがってこれから変えるべきところもあろうかと思えます。そういったところも変えていきたいわけでありす。ただ一つ私がお話の中、これはまずいなと思ったのは、実は今中高生もこの車社会の茅野市において、ある一面犠牲者なのであります。彼らが言うところによりますと、どこへ遊びに行くときも親に送ってもらいたい、他に移動手段がないというところである。私達や、私たちの子ども達が大きくなるときは、仲間と一緒に観光地へ行ったり、また、仲間の家に泊まりに行ったり、友達と多少野に若葉があったかわからないが、そんな遊びの中でこの茅野市にとっても愛着がわきこの茅野市に帰って来ようと思って今があるわけでありす。親にどうしても頼まなけれ</p>		

ば移動手段のない子ども達が果たしてこの茅野市を本当に愛してここで私も一緒に子育てをしてまちづくりをしていく。そんな感覚になるかなとそれはやっぱりこの子どもたちのためにもこの移動手段というものをきちんと確保していくことが我々の責任ではないかなという風に感じました。そんなことで、私の思いだけお伝えして申し訳ありませんけれどもぜひこの、茅野市が素晴らしく素敵な街になるために皆様方のお知恵を拝借したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 案件

(1) 実証運行について

①事務局からのシステム説明

会長

会長：それでは案件①事務局から、実証運行に係る業務内容の説明をお願いします。

事務局

・本日の進め方について次第に沿って説明。資料①に沿って説明。
「実証運行について」

① 業務の目的について

過去3回会議の中で説明をしてあります。省略させていただきます。

② 実証運行の期間について

今年の12月7日月曜日～来年の5月31日月曜日まで、正味6か月間の実証運行を計画しています。実証運行のイメージは、今までの資料でも提示させていただいたが、分かりにくいところもあったのでイラストを含めたイメージを設けてあります。今回の実証実験のイメージをご覧ください。

③ 2次交通について

2次交通については、ピアみどりから茅野駅まで定時定路線の要式バスで運行する。経路については、市内の茅野高校・東海大学諏訪高校の学生のみなさんにも利用していただきたいという趣旨の中で、ピアみどりから茅野駅の間で栗沢橋と本町5丁目のバス停を利用して途中下車をする計画をしている。運行については、通学の電車時間に合わせた運行ということで朝夕それぞれ2往復ずつ運航する。2台で2往復ずつおこなう。運休日は、土日祝日を考えている。

④ ルート図について

別紙に示してある通り。

⑤ 運行時刻について

以前にも説明をしましたが、高校生の通学時間に合わせた運行をしていく。何度か茅野駅に足を運び高校生の移動の様子を見たが、やはり7時台の電車に乗る人がかなり多く、送ってもらったうえで電車に乗る人が多かった。7時台の時間帯を集中的に運行していく。バス2台での運航になるので、制限・限度がある。1回茅野駅まで来て、またピアみどりまで戻らなければならないとなると、すべての時間をカバーすることはできないが、2本を1回の便でカバーするなどそのようなことの中で時間設定をおこなった。

上の方が朝、①と①-2が同じバス、②と②-2がもう1台のバスという意味です。夕方についても同じことになっている。

⑥ 料金について (4 ページ)

料金は定額とする。定額の金額は、1乗車につき150円で運行する。150円の根拠は、現行の150円から150円を切る基準に設定させてもらった。特例としては、定期券と回数券を認めていきたい。定期券の場合は、1回150円のところ、1回100円に換算する。150円で往復20日乗車した場合、6,000円かかるところ、100円で換算すると4,000円になるので2,000円お得になる。回数券の場合は、1,500円本来であれば10回分のところ12回分で販売していきたい。決済方法は、現金若しくは、定期券・回数券の利用をしていく。

⑦ 車両及び停留場の措置

バスの車両は、28人定員で2台運行する。途中下車する、粟沢橋と本町5丁目のバス停は現行のバス停を使用する。ピアみどりについては、現在交番の横あたりに停留場を設ける予定。そこにはバスの停留所を新設する。茅野駅については、東口のバス停を利用したい。犬射原社あたりの駐車場を利用する。ピアみどりについては、特に高校生たちの待合所・駐輪場を設置することを考えている。

⑧ 3次交通について(5ページ)

乗合いのオンデマンド方式で、運行エリアについては、下に地図があるエリアとなる。地図だけで示すと境界等分かりづらいところがあるので、それぞれ境界にはそれぞれ地名を記入してある。たとえば下の方になるが、玉川が今回対象エリアとなっている。ちょうど境については、宮川と玉川の境の十頃に青い線が走っているの、地区境という解釈をしてほしい。右に移り、玉川郵便局右下になるが、そちらは原村になり、行政区界となる。右の方に飛び出ているところは、上槻木、尖石縄文考古館から真っ直ぐ線が伸びているがここは、広見をカバーするためにこのような形になっている。そこから上に行き、ピアみどりの上は、湖東地区になるのでここも地区境になる。米沢の方面も同様。中大塩も米沢境となっている。米沢については、ビックの部分がエリア外になっている。埴原田区の弓道があるがそこから南側のエリアを対象としている。その下の城山があり本町のお寺のところも出ている。そこから真っ直ぐ右上の方に線が伸びているがそこは上原になる。見切れているが、ステーションパークまでの茅野市と諏訪市境まではエリア内としてカバーしている。1点宮川地区になるが、高速の茅野バス停はエリアに含んでいると理解いただきたい。

⑨ アプリ名

3次公共交通は、基本的にスマホでの予約となるので、スマホのアイコンはイラストで示している。アプリ名は「のらざあ」とした。名称については、各委員さんの方からそれぞれ応募いただき、投票数の多いものに決めさせてもらった。右の表にもあるが、38件の応募数があり、総投票数が18票となった。「のらざあ」については、3票となっているが、票が割れている中でこの名称が一番票を取ったので決めさせてもらった。このイメージは、「のらざあ」の言葉には、茅野で頻繁に乗合いをしていくときに出てくる方言になり、親しみやすいという事、八ヶ岳を上を排していること。イメージとして八ヶ岳は欠かせないものとして使用した。実際にインストールして使用する場合は、マークをクリックして使用してもらう。

先ほども示したが、エリア内どこでも乗降が可能となる。「バーチャルバスストップ」ですが、次頁に示してあるバス停ではなく、架空の

バス停で乗降が可能になる。高齢者の方には、1部ドア to ドアということも考えている。

⑩ 運行日等 (6P, 7P)

(運行日時及び料金設定)

運行日について基本的には、土日祝日含めて運休日は無しで考えている。ただし、年末年始を挟むため、年末年始については運休としたい。他の運休日については、協議して決めたい。運行時間については、土日祝日も含め朝 9:00～夜 7:00 までとしたい。

料金については、距離別の料金としたい。前回のこの会議でこの距離ならいくらで乗りたいか数字を出してもらったが、その時の平均で考えている。

(スマホ予約の場合)

3km 未満：300 円、3～5km 未満：500 円、5km 以上：700 円で料金を考えている。

スマホを持っていない方には、電話予約を取り入れた。オペレーターにお金がかかるので、若干スマホよりは高い設定となっている。

(7P 予約及び決済方法)

スマホの所有者については、専用アプリから予約をしてもらう。リリースは、11/20 (金) 頃を予定している。最初基本情報を入力すれば簡単に使用できるので、委員の皆さんとも会議の中で登録していきたい。スマホを持っていない方は、電話予約を導入する。電話予約については、決済方法は現金での決済とする。下記してあるが、電話予約なので、コールセンターを設置する。利用者が電話でコールセンターへ電話し、「乗車地、目的地」など必要な情報を伝える。コールセンターから利用者へ内容のフィードバックを行う。コールセンターからドライバーへは乗車地や目的地・料金を伝達する。コールセンターのパソコンで検索し伝える。それを受けドライバーが利用者を迎えに行く流れとなる。コールセンターの番号については、現在仮の状態だが、こちらで申請しているのは、0413 (よいさ) という事で御柱にちなんで語呂合わせの番号にしている。受付時間に関しては、朝 9:00 から午後 5:00 までで運用する。第 3 次交通については、19 時まで運行だが、17 時から 19 までの 2 時間については、コールセンターはストップしたい。

⑪ 親族によるアプリでの代理予約について

親族等によるあぶりの代理予約は、自分の親を乗せてもらいたいときや、本人がスマホをもっていない場合は、アプリをもっている親族が予約者本人の代わりに代理で予約ができる。決済方法については、アプリで指定した方法により決裁を行う。

⑫ 車両について

現在検討しているのは、タクシー車両 3 台、ハイエースが 1 台で考えており、コロナ禍にあるため、タクシーを減らしハイエースを増やす場合もある。

(8 ページ)

利用者を増やすために、割引や特典が必要となってくる。資料 1.2.3 については、アプリ・電話予約の両方で得点を受けられることができる。

⑬ 今後のスケジュール

	<p>11/4 定例記者会見でシステムについて発表 11/中旬 委員会 12/1 試乗会（委員さんにも乗車をお願いしたい） 12/7 出発式</p> <p>（途中、実際のアプリ登録画面に加え、アプリによる配車イメージ動画を用いて説明。）</p>
会長	<p>それでは質疑に移ります。質疑につきまして何かございますか。</p>
委員	<p>今回の資料を拝見した。以前申し上げたとおり日本版 MaaS として確認とお願いをさせていただきたい。</p> <p>新地域公共交通とある中で、アプリの説明等で気になった点があります。アプリの説明が3次交通にフォーカスしたようになっているのかなと思っている。MaaS 的には特定の交通手段だけではなく、一括して検索することができるのが MaaS の基本だと思っている。3次交通だけであるのであれば、いずれにしても MaaS のアプリというよりはデマンド交通のアプリという印象である。3次交通とは別ということではなく盛り込んでいただきたい。</p> <p>2点目として対象となるのは地域の課題解決に寄与するためであるため、交通手段以外（観光・商業・教育・子育て・防災等）のデータと連携されることが大前提である。そういったところも含めてデータ連携をしていただくことが大事。先ほどの操作画面を拝見すると、そのよう葉画面が見えないので若干心配になる部分。</p>
事務局	<p>今後検討していく。クーポンの発行等でさまざまなデータ連携を図っていきたいと考えている。</p>
会長	<p>他にご質問・ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>2次交通は路線に近い人だけが優遇される。2次交通しかやらないのか。高校生の利用については良いのだが、高齢者の利用については大きくかけ離れていると思う。</p> <p>5月末までやる中で何が成果である何をもって成功であるのかお教えいただきたい。今後のイメージについてお伺いしたい。</p>
事務局	<p>成果等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次交通をやる意味は、事務局のターゲットとしては高校生を狙っている。朝晩の送迎や茅野駅周辺の混雑を減らすことを考えている。2次交通で駅からピアみどりまで行き、その後乗合タクシーなどで目的地に行くことも考えられる。 ・高齢者については、タクシーの配車も土地勘のある運転手を配置しローテーションを組んでいく。路線バスに比べ好きなところに好きな時間に行くことができるので高齢者の足の確保をしていきたい。 ・6か月やる意味は、年度をまたぐことによって新たな動きが分かってくると思う。利用される方が多ければいい成果になるのではないかと思

	う。むやみやたらに乗ればよいというものではなく、多くの方に体験してもらいたい。それ以後のイメージは、茅野市には観光地・別荘地があるのでこの実証実験の結果により観光地へ路線を延ばしたりしたい。
会長	ご承認いただいたということによろしいでしょうか。
全委員	特になし。
会長	②実証運行計画について 会長：次に、②利用啓発活動について、事務局から説明をお願いします。
事務局	別紙資料②のとおり利用啓発の資料をまとめておりますので、内容をご確認いただき、各ファシリテーター様に取りまとめをお願いいたします。それではよろしくお願ひいたします。
会長	各グループから発表をお願いいたします。 A グループ ポスターやチラシの配布については、内容（各対象や 2 次交通・3 次交通）について必要なのではないかと。掲示の場所についても、高齢者向けのは病院やスーパーに高校生に向けてはステーションパークにも掲載を。長野県の中で信州ナビへの登録も検討を【2】については資料のとおり。【3】携帯会社と連携し、販売の促進もお願いしたい。【4】諏訪実業高等学校に路線バスを検討する会があるのでそこにアプローチするのが良いのではないかと。 B グループ 最初はデマンドも乗ってもらえない状況もあった。若い人向けにはとてもいいのかなと思うが、時間帯が 9 時から 19 時となると高齢者 80 代の方にいかに乗ってもらうかが大事だと思う。ビデオ等による説明だと説明不足になるので、マンツーマンでの指導や公民館等で指導も必要かなと思います。実証行が始まる前でも実際に乗ってもらえるといいのかなと思います。また、実証運行が始まった後でも実際に乗ってもらえるようなサービスにする。 C グループ チラシについては、より人が集まる場所がいいのかなという意見があった。将来のプロセスも合わせて説明できればと思いました。チラシについても高齢者向けの説明や動画の QR コードを掲載することも必要。 D グループ ポスターチラシが今後の利用者獲得のために必要であると思う。チラシは各戸配布が最善であるという話になった。ポスターのデザインや掲載

内容の検討も必要ではないかということであった。

QRコードによる誘導も必要ではないかということであった。会として、アプリのダウンロード数をどのくらいの目標にするのか相談しなければいけない。

【3】高齢者の端末貸し出しについては講習会等での説明会とセットになるので貸出期間の周知もとセットで行いたい。

【4】31日の意見交換会で高校生からの意見集約も必要となる。活動の協力体制だが、できる範囲で協力をしていきたい。

E グループ

チラシは高齢者には、あまり効果がない。

高齢者へは、貸し出し端末についても講習会とセットでやった方がいいと思う。

乗車会についても目で見ると体でわかるようなところがある。デモ期間高齢者については無料でやればいいのかということであった。

高校生・中学生へのアプローチについては、2次交通を使用する茅野市以外の高校生にも連絡を取って、単に乗ってくださいではなくて、時間を明確にしたバスに乗ってくださいという形をお願いする必要がある。実際に乗ってみてもらうことが大事。

F グループ

概要を聞いて便利でお得であるが、細部まで説明してもらわないと理解ができない。一度乗って体験してみると内容が理解できる。入口のハードルが高くなっている。

なので、病院でも代理予約もいいのかという意見がでた。この先の将来どうしていったらいいか考えていかなければならない。

G グループ

ポスターは、乗車予定の高校生が通学している学校に掲載してもらうのが良い。市内の高校だけではなく、市外の高校にも設置してもらおう。

試験期間中にマスコミの試乗もしてもらった方がいい。東御市や塩尻市でも始まるということなので話題作りは大切であるという意見があった。年度を跨ぐので実証実験で多く乗れば今後も乗れるようになるよということを知ってもらうことが大事だと思う。そうすることで保護者にも周知されていくのではないか。チラシについては、紙類だと捨てられてしまうので、マグネットのような貼れるもので、**QR**コードなどを付けて捨てられない工夫をするのがよい。また、車体をラッピングするなど市民が広く知れるのもよい。

2次交通、3次交通が分かりにくく、高齢者にもわかりやすい工夫をしてほしい。例なども交えて説明ができればよいと思う。また、東御市では、体験のバス車内でスマホの説明などをしていたので、そのようなものを取り入れてみては。

③サブフレームの検討について

会長	会長：次に、③サブフレームの検討について、事務局から説明をお願いします。
事務局	サブフレームは、現在実証運行をメインフレームとして福祉関係や教育関係の会議などにも出向き意見等の集約をしていきたい。これから会議に出席することも増えるが、参加していただき議論をしていただきたいと思います。
会長	(2) その他 会長：案件は以上になりますが、何かあればお願いします。
事務局	高校生との意見交換会では、金銭面だと安価で電子マネーが使えるようにする。車内環境になれば、席の間隔を広く気分の乗る BGM をかける、エアコンが効いている。将来的には、隣の原村との接続が上手くいくこと、本数を増やすこと。バス停については、わかりやすいところに作ってもらいたい。利便性については、JR の Suica が使えるようになるとよいなどの意見が出た。この意見に関しては、今後の実証実験の中でバス事業者との打ち合わせをしていきたい。
事務局	本日、この事業のコンサルティングを大日本コンサルタント株式会社との契約をおこなった。事業を進めるにあたってどのようなところを目指すのかどのような形式的、定量的な指標も大日本コンサルタント株式会社と協議して実証運行前にそのような部分をみなさんと共有したい。
事務局	その他 事務局：次回の会議でございますが、実証運行の開始前に開催させていただき、最終の運行内容や出発式等についての協議をさせていただきます。 開催日については追って通知いたします。
副会長	5 閉会 地域戦略課長：閉会のごあいさつを、副会長の高木宏明様からお願いいたします。 9 月の CHUKO らんどチノチノの高校生の話を聞いて、今どきの高校生なんだなと思った。親の送迎は申し訳ないという意見が出た。この実証実験に成功のカギがあるのではないかと思うので、皆で協力して成功に導いてほしいと思う。 本日は大変遅くまでありがとうございました。

以上